



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月6日

上場会社名 株式会社 ミスミグループ本社 上場取引所 東証一部  
 コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>  
 代表者 代表取締役社長 三枝 匡  
 問合せ先責任者 財務経理管掌執行役員 高原 茂季 TEL (03)3647-7124

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	29,895	4.5	3,952	6.5	4,060	8.6	2,635	17.9
19年3月期第1四半期	28,614	19.3	3,710	24.3	3,739	21.3	2,234	32.7
19年3月期	118,139	—	15,642	—	16,055	—	9,447	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	29	92	29	70
19年3月期第1四半期	25	74	25	39
19年3月期	108	42	107	17

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第1四半期	83,846	66,353	66,353	66,353	78.9	750	14	
19年3月期第1四半期	72,472	54,956	54,956	54,956	75.8	632	91	
19年3月期	84,244	63,938	63,938	63,938	75.7	725	44	

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	61,000	4.9	7,950	△1.2	8,050	△3.0	4,700	△2.9	53	48
通期	130,000	10.0	15,900	1.6	16,100	0.3	9,450	0.0	107	53

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注)詳細は、【定性的情報・財務諸表等】4.その他(3ページ)をご覧ください。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成19年4月1日から平成19年6月30日まで）では、輸出減速やIT・デジタル分野の在庫調整を背景に企業の設備投資意欲は減退傾向にありましたが、新商品効果の持続および中国など海外売上の伸張等により、機械工業系各事業において売上高はおおむね底堅く推移しました。この結果、売上高は298億95百万円（対前年同期比4.5%増）と増加し、営業利益は39億52百万円（対前年同期比6.5%増）、経常利益は40億60百万円（対前年同期比8.6%増）、四半期純利益は26億35百万円（対前年同期比17.9%増）となりました。

(1) 自動化学業

自動化学業は、年初より自動車・電子部品製造業等関連国内顧客からの受注の伸びが鈍化しつつありますが、構造体（アルミフレーム等）、マテリアル（プレート・ロッド等）において積極的な営業活動が奏功したこと、および中国・欧州など海外における売上増に支えられ、売上高は143億36百万円（対前年同期比4.6%増）となりました。なお、組織の見直しによる事業の一部移管の効果を除くと売上高の対前年同期比は8.4%増になります。

(2) 金型部品事業

金型部品事業は、前期より続く自動車業界の軟調な設備投資の影響を受けましたが、中国を中心とする海外売上の増加により、売上高は82億48百万円（対前年同期比5.2%増）となりました。

(3) エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業は、顧客の多くが属する電子部品・自動車製造業からの需要が軟化しており国内販売は伸び悩みましたが、海外売上はタイ・韓国などアジアを中心に比較的堅調に推移しております。このような背景から売上高は30億36百万円（対前年同期比5.5%増）となりました。なお、組織の見直しによる事業の一部移管の効果を除くと売上高の対前年同期比は0.4%増になります。

(4) 光関連事業

光関連事業は、デジタル家電用設備・研究開発からの需要が堅調であったこと、ならびに光通信・半導体関連分野へのシステム品も売上に貢献したことなどから売上は堅調に推移し、売上高は13億52百万円（対前年同期比38.7%増）となりました。なお、組織の見直しによる事業の一部移管の効果を除くと売上高の対前年同期比は3.2%増になります。

(5) 多角化事業

ツール事業は引き続き好調な超硬エンドミル・ドリルの販売等に支えられ底堅い売上推移となり、また医療消耗品関連事業もDMやファックスを利用した販促キャンペーンの効果等により販売は順調に推移しました。一方、食品消耗品関連事業は、好調な生鮮・素材事業と軟調な調理食品事業の合算で若干の前年割れとなりました。これらの結果、多角化事業全体の売上高は29億21百万円となり、前期より連結除外となったビジュアルメディア部門を除く対前年同期比では、9.5%増となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ3億97百万円減少し、838億46百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少22億57百万円、たな卸資産の増加9億59百万円などにより流動資産が7億15百万円減少したこと、また、有形固定資産が4億24百万円増加したこととあります。

総負債は前連結会計年度末に比べ28億12百万円減少し、174億93百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億12百万円、賞与の支払等による未払金の減少15億15百万円、未払法人税等の減少16億12百万円などにより流動負債が28億58百万円減少したこととあります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ24億14百万円増加し、663億53百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が15億80百万円増加したことなどにより株主資本が20億80百万円増加したこと、また、為替換算調整勘定等の評価・換算差額が3億34百万円増加したこととあります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.7%から78.9%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね順調に推移しておりますが、今後の不確定要因を勘案し、当期の予想につきましては、前回公表（平成19年5月15日）の中間期及び通期の業績予想は修正しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無  
法人税等の計算基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無  
該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	15,298	20,957	5,658	37.0	23,214
2. 受取手形及び売掛金	24,839	27,432	2,592	10.4	27,586
3. 有価証券	512	512	0	0.1	498
4. たな卸資産	10,528	12,000	1,471	14.0	11,040
5. その他	4,185	3,059	△1,125	△26.9	2,319
貸倒引当金	△100	△128	△28	27.9	△111
流動資産合計	55,263	63,832	8,569	15.5	64,548
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	2,102	2,155	53	2.5	2,154
(2) 機械装置及び運搬具	2,319	2,864	544	23.5	3,060
(3) 土地	1,952	3,009	1,056	54.1	3,003
(4) その他	915	2,323	1,408	153.8	1,710
有形固定資産合計	7,290	10,353	3,062	42.0	9,928
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア	1,342	1,109	△232	△17.3	1,173
(2) のれん	1,788	1,288	△500	△28.0	1,411
(3) その他	102	166	64	62.7	157
無形固定資産合計	3,232	2,564	△668	△20.7	2,742
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	3,096	3,413	317	10.3	3,438
(2) その他	3,661	3,764	103	2.8	3,669
貸倒引当金	△71	△81	△10	14.1	△84
投資その他の資産合計	6,686	7,096	410	6.1	7,024
固定資産合計	17,209	20,013	2,804	16.3	19,695
資産合計	72,472	83,846	11,373	15.7	84,244

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	7,369	8,074	705	9.6	8,387
2. 短期借入金	2,626	1,547	△1,078	△41.1	1,716
3. 未払金	2,340	2,216	△123	△5.3	3,732
4. 未払法人税等	2,038	1,867	△170	△8.4	3,479
5. その他	1,249	1,802	553	44.3	1,051
流動負債合計	15,623	15,508	△114	△0.7	18,367
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	1,205	1,290	84	7.0	1,272
2. 役員退職慰労引当金	528	547	18	3.6	542
3. その他	158	147	△11	△7.3	124
固定負債合計	1,892	1,984	92	4.9	1,938
負債合計	17,515	17,493	△22	△0.1	20,305
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	3,265	4,310	1,044	32.0	4,060
2. 資本剰余金	13,038	14,082	1,044	8.0	13,832
3. 利益剰余金	38,616	46,540	7,924	20.5	44,959
4. 自己株式	△644	△645	△0	0.1	△644
株主資本合計	54,276	64,287	10,011	18.4	62,207
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	383	531	147	38.6	546
2. 為替換算調整勘定	297	1,346	1,049	353.2	996
評価・換算差額等合計	680	1,877	1,197	175.9	1,542
III 新株予約権	—	187	187	—	187
純資産合計	54,956	66,353	11,396	20.7	63,938
負債及び純資産合計	72,472	83,846	11,373	15.7	84,244

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	28,614	29,895	1,281	4.5	118,139
II 売上原価	18,251	18,581	330	1.8	74,307
売上総利益	10,362	11,313	951	9.2	43,831
III 販売費及び一般管理費	6,651	7,361	709	10.7	28,188
営業利益	3,710	3,952	241	6.5	15,642
IV 営業外収益	119	133	13	11.5	504
V 営業外費用	91	25	△65	△72.4	91
経常利益	3,739	4,060	320	8.6	16,055
VI 特別利益	139	2	△137	△98.2	200
VII 特別損失	12	0	△12	△96.9	257
税金等調整前 四半期(当期)純利益	3,866	4,062	195	5.1	15,998
税金費用	1,631	1,426	△204	△12.6	6,551
四半期(当期)純利益	2,234	2,635	400	17.9	9,447

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。